

Ⅲ 指導上の参考資料

1. 加工トマト品種K-125について

1. 背景と特徴

従来栽培されている品種は、くりこま、盛岡7号の2品種であるが、昭和49年から導入が進められている品種K-125について昭和48～50年における品種比較試験の成績からその特性を明らかにする。

K-125は収量、品質は盛岡7号と同程度で、くりこまより収量が多い。果実は盛岡7号よりやや大きいので収穫労力の省力が見込まれる。

2. 特性

K-125(盛岡7号×H1610)、草型は立性で節間長が短かく盛岡7号に近時しているが、盛岡7号に比較し、草勢は旺盛で繁茂しやすい傾向がある。開花始め、収穫始めは盛岡7号と同程度である。果形は偏円形で果実の大きさは80～100g位、未熟果は淡緑色である。裂果程度は盛岡7号と同程度であるが、やや腐敗が多い。ヘタどれはやや不良である。

3. 試験成績の概要

1) 試験課題名 加工トマト品種比較

2) 試験年次および場所 昭48～50年 岩手県園芸試験場本場

(1) 供試品種

①K-125 ②盛岡7号 ③くりこま(標)他4品種

(2) 面積および区制

①～②—22.5m² ③18.0m²・1区制

(3) は種期、定植期 主要成果の具体的データに記載

施肥量 県耕種基準による。

4. 主要成果の具体的データ

第1表 生育(10株当り)

1) 48年

項目 品種名	5月8日		6月1日		7月27日		収穫期間 月日~月日
	草丈 cm	葉数枚	草丈 cm	葉数枚	草丈 cm	開張巾 cm	
① K-125	5.3	2.0	15.2	7.1	56.0	166.0	8.7~9.26
② 盛岡7号	6.3	2.0	18.9	8.3	55.7	113.0	" ~ "
③ くりこま	6.8	2.2	19.5	8.8	56.3	121.0	" ~ 9.17

※は種期-4月16日 定植期-6月1日 開張巾一畦に対して直角の測定

2) 49年

項目 品種名	6月10日		6月25日					
	草丈 cm	葉数枚	草丈 cm	葉数枚	葉長 cm	葉巾 cm	側枝数本	開張巾
① K-125	15.6	6.6	26.3	10.5	38.6	29.9	7.5	72.6
② 盛岡7号	16.9	6.7	27.3	7.3	35.9	25.7	7.4	60.7
③ くりこま	-	-	-	-	-	-	-	-

※は種期-4月16日 定植期-6月10日

収穫期間
月日~月日
8.21~10.9
8.21~10.9
-~-

3) 50年

項目 品種名	6月2日					6月20日		開花始 月日
	草丈 cm	葉数枚	葉長 cm	葉巾 cm	側枝数本	側枝数本	開張巾	
① K-125	22.7	9.0	25.6	21.7	2.2	11.0	68.9	6.2
② 盛岡7号	24.9	9.1	27.8	21.6	1.9	10.6	77.6	6.2
③ くりこま	31.9	9.8	24.1	18.9	0	10.4	72.9	5.27

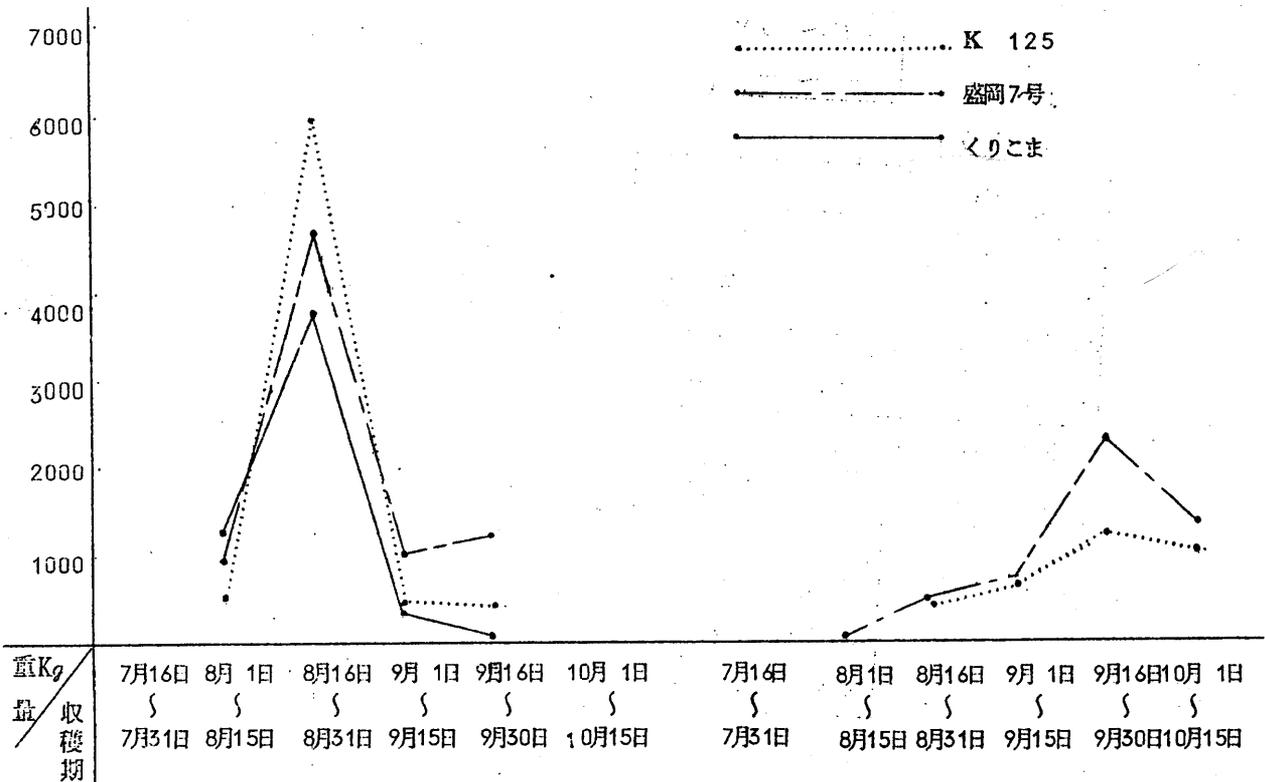
※は種期-4月5日 定植期-5月23日

収穫期間
月日~月日
7.30~10.2
7.30~10.2
7.30~9.25

第2表 収量(10a当り)および障害果数率(%)

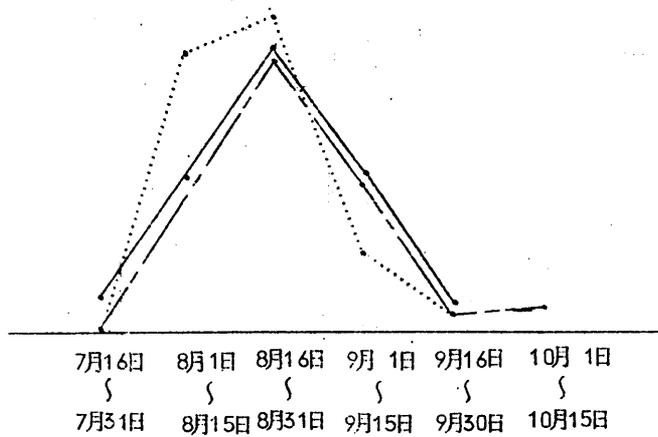
品種名	項目 年次	収 量		収量比 %	1個平 均重g	障 害 果 数 率		
		個 数	重 量 kg			裂 果	尻 腐	腐 敗
①K-125	48年	75184	7474	135.6	99.4	5.5	12.1	6.3
	49年	37914	3347	60.3	88.3	5.3	1.0	31.9
	50年	96413	8587	109.4	89.1	1.4	0.1	17.0
	平均	69837	6469	101.6	92.3	4.1	4.4	18.4
②盛岡7号	48年	114552	7992	144.9	69.8	8.3	10.1	4.1
	49年	54797	5552	100	101.4	8.1	0	15.5
	50年	135364	8384	106.8	61.9	3.3	0.1	5.6
	平均	101571	7304	117.2	77.7	6.6	3.4	8.4
③くりこま	48年	136160	5514	100	40.5	9.5	12.2	8.0
	49年	—	—	—	—	—	—	—
	50年	153448	7848	100	51.4	1.4	0.3	11.6
	平均	144804	6681	100	46.0	5.5	6.3	9.8

第1図 年次別。時期別収量(10a当り)



昭和48年

昭和49年



昭和50年

第3表 品質分析

1) 48年

① K-125

② 盛岡7号

調査月日	P H	R I	T A	Lb/A	リコピン	P H	R I	T A	Lb/a	リコピン
8/12	4.22	5.1	0.52	9.98	8.01	4.21	5.4	0.55	11.08	7.21
8/21	4.18	5.0	0.57	9.88	5.86	4.19	5.0	0.52	9.23	9.99
8/31	4.18	5.2	0.56	8.47	7.64	4.10	4.9	0.55	9.14	8.77
9/14	4.25	4.6	0.39	11.09	8.76	4.22	4.5	0.38	11.41	7.63
合計	16.83	19.9	2.04	39.42	30.27	16.72	19.8	2.00	40.86	33.60
平均	4.20	4.97	0.51	9.85	7.56	4.18	4.95	0.50	10.21	8.40

③ くりこま

P H	R I	T A	Lb/a	リコピン
4.45	5.0	0.42	9.70	5.66
4.32	5.1	0.45	8.21	11.45
4.24	4.9	0.46	9.62	9.24
4.32	4.4	0.39	9.06	10.83
17.33	19.4	1.72	36.59	37.18
4.33	4.85	0.43	9.42	9.29

2) 49年

① K-125

調査月日	P H	R I	T A	Lb/a	リコピン	NO ₃ -N	P H	R I	T A	Lb/a
8/23	4.15	5.00	0.48	13.8	3.44	6.0	4.22	4.80	0.50	10.9
9/3	4.40	3.80	0.35	9.5	4.63	5.0	4.28	4.50	0.42	10.6
9/12	4.30	3.80	0.40	11.6	5.08	5.0	4.28	4.30	0.51	11.6
9/24	4.48	4.30	0.34	10.7	7.61	1.0	4.30	4.20	0.38	13.2
9/28	4.25	4.30	0.41	12.1	4.85	3.0	4.48	4.30	0.36	12.8
合計	21.58		1.98	57.7	25.61	21.0	21.56	22.10	2.17	59.1
平均	4.32	4.24	0.40	11.5	5.12	4.2	4.31	4.42	0.43	11.8

リコピン	NO ₃ -N
4.64	5.0
5.87	—
6.31	5.0
6.87	2.0
4.86	3.0
28.59	15.0
5.72	3.0

注) P H: 酸性度 R I: 糖度% T A: トータル酸%

Lb/a: 色調 リコピン: 色素(mg%) NO₃-N: 硝酸態N(%)

摘要

1. 生育 K-125は初期の生育はくりこまより劣るが、収穫始めは各品種とも同じである。K-125、盛岡7号は同じような生育ステージであり、収穫終りはK-125、盛岡7号はくりこまより5~10日遅い。
2. 収量 48年、50年はK-125は盛岡7号と同程度の収量であったが、49年はK-125と盛岡7号の比較であるが 果実の肥大がわるく腐敗果が多く、特にK-125は収量が低かった。しかし、7月の低温、日照不足に遭遇し、各品種とも例年にない低い収量であった。
3. 障害果 裂果、尻腐果の発生個数の大きな差は見られなかったが、腐敗果はK-125に多く見られた。
4. 要約 以上の結果、K-125は49年は低収であったが、48年、50年はくりこ

まを上回る収量で、盛岡7号と同程度の収量が得られた。しかし、腐敗果は各年次とも盛岡7号より多く発生している。

2. ニンニクの貯蔵法について

1. 背景と特徴

ニンニクは収穫後、吊り球風乾して出荷を調整し、凍結期前の12月下旬までの出荷が主体である。12月下旬以降は凍結や鱗片のぬげが多く発生し、品質が著しく低下するため、風乾状態での長期保存は不可能であった。

したがって12月下旬以降の品質向上をはかり、長期に渡り安定出荷のできる貯蔵法を検討するため、貯蔵庫利用の貯蔵法につき検討したので参考に供したい。

2. 試験成績の概要

- (1) 試験課題名 ニンニクの貯蔵法
 (2) 試験年次および場所 昭和48～50年 岩手県園芸試験場本場
 (3) 試験方法

昭和48年度

- ① 軒下吊り球
- ② 無暖房室内
- ③ 日中暖房、夜間無暖房室内
- ④ 貯蔵庫(5℃±2℃)
- ⑤ 貯蔵庫(1℃±1℃)

注) 貯蔵庫の湿度80～85%、1kgのネット袋詰とする。

昭和50年度

包装方法	貯蔵方法
① ネット袋詰+ダンボール入	軒下貯蔵
② "	貯蔵庫(5℃±2℃)
③ "	" (1℃±1℃)
④ ネット袋詰	軒下貯蔵
⑤ "	貯蔵庫(5℃±2℃)
⑥ "	" (1℃±1℃)
⑦ ポリ袋詰+ダンボール入	軒下貯蔵